

西中の風

伊丹市立西中学校長
豊田 實

『不易』 ～ALWAYS 三丁目の夕日’64を視聴して～

懐古の情に包まれることはわかっていたながらも視聴しました。1964年、初めてアジアで開催された東京オリンピック、当方は小学生でした。日本国中で聖火リレーのルートが計画されました。先生に連れられて聖火が走り抜ける沿道へとくりだしたことを今でも覚えています。世代で言えばご家族の祖父母の皆さんが高校生から上ぐらい、父母の皆さんが誕生される10年前ほどというところでしょうか。



映画は家族愛、近所づきあいの温かさが盛りだくさんでした。そして、自宅での出産場面や親子喧嘩、ギャングエイジの子どもたち、人生観を問う進路選択の大切さや挫折経験、若くして社会に出て成人へと成長する女性、古里の父が自立を心底願っていたこと、子どもが家事を手伝う生活、家族思いの厳格で一本気な父親、電話も一家に一台家族が誰と知り合いかよくわかる生活、おせっかいな近所のおばさん、相談ができる人云々、路地裏文化とも言える人情のぶつかり合い。また、人知れず社会の弱者を救う医療に熱心な青年医師との出会い、結婚等々、ぐっと凝縮した内容でした。

もちろん時代は移り変わっています。家族構成や同居する人数も、仕事や毎日の生活も、人々の価値観も変化していることは事実です。

改めて「不易」(いつまでもかわらないもの)、いつの時代であっても人生(教育と子育て)を考えますと、我々は子ども時代を回顧し、大人から軽けられて体に備わったこと、よき思い出、親の慈しみ、人の思いやり、よき子育ての記憶を心に据えることが大切です。

ストーリーでは、終戦後焼け野原だった東京にも世界一の東京タワーができた、新幹線も開通し、オリンピックも開かれた。これから人々は、もっと裕福になることを求めるだろう。しかし、幸せとは、大切なものは、と問うようなシーンがありました。人間愛とは、思いやりとは…

すでに、テレビでも第1・2作目が放映されていました。ご覧になった方もいらっしゃるかと存じます。ぜひ、おじいさん、おばあさんにもお話ししたいでござる。ご家族で視聴されることをお勧めします。

本校のすべての教育活動の領域で進めている「表現力の向上」(ことばの力)育成は、心が織り込まれたコミュニケーションがご家庭、学校で成し得てこそ充実することだと言えましょう。



はきはきと、がんばれ受験生！

面接指導【セ・メ・テ・アシ・フク】

受験(受検)期となりました。高校や就職先、専門学校によっては作文や面接が行われるところがあります。面接に臨む基本の姿勢を身に付けるには(背・目・手・足・服)を整えることが重要です。

《背》は、背筋を伸ばす
《目》は、話す面接官に視線を向ける
《手》は、そろえて膝の上におく
《足》は、そろえて座る
《服》は、服装の着こなし

話し言葉は語句だけではなく短くまとまった文章の会話となるよう練習が必要です。高校生活等への意欲をもって入学することを確かめられるのです。受験生にとって、事前に練習で緊張する経験をもつことは貴重です。本番では、質問をしっかりと聞き取り、落ち着いて答えられるよう学年では計画しています。



第39回兵庫県アンサンブルコンテスト

東阪神地区大会 ★☆吹奏楽部☆★

金賞	打楽器8重奏
銀賞	金管8重奏
銀賞	クラリネット8重奏

第18回コンピューターラフィックコンテスト

奨励賞 1年 高橋 広綺